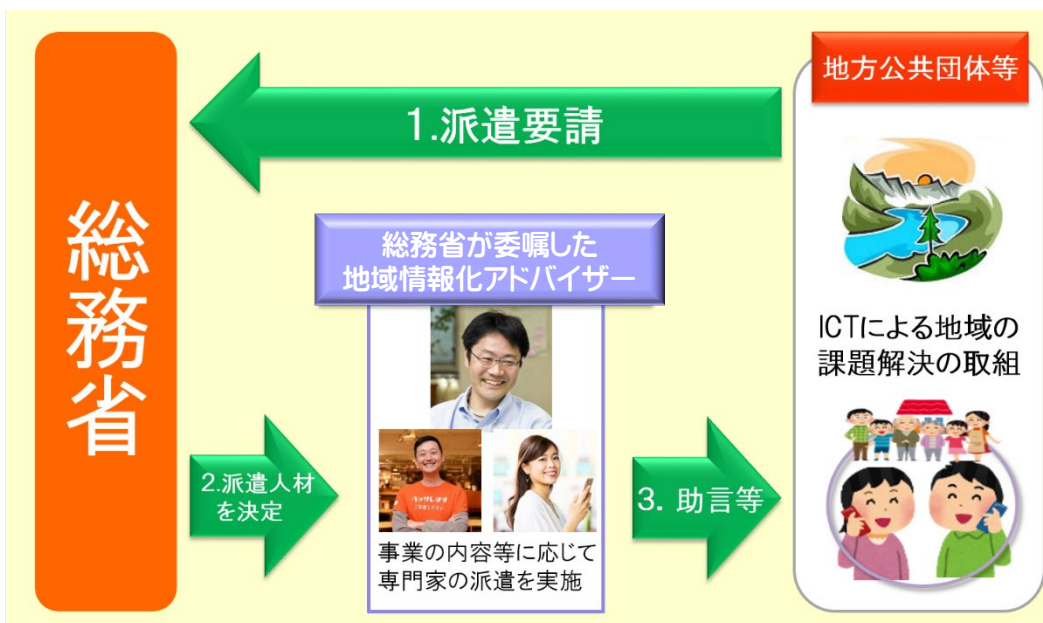
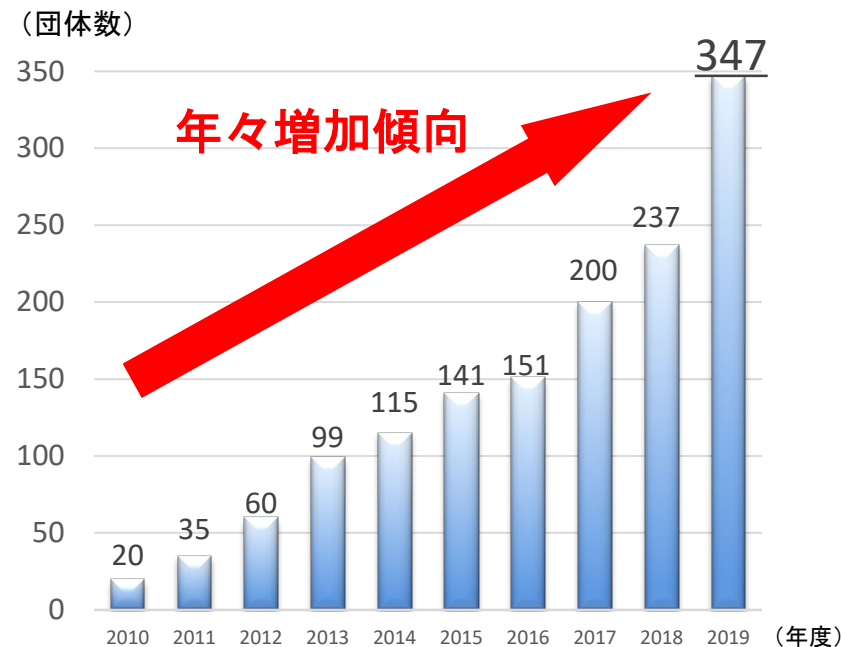


- 地域が抱える様々な課題を解決するため、ICTを活用した取組を検討する地方公共団体等からの求めに応じ、ICTの知見等を有する「地域情報化アドバイザー」を派遣し、ICT利活用に関する助言等を行う。

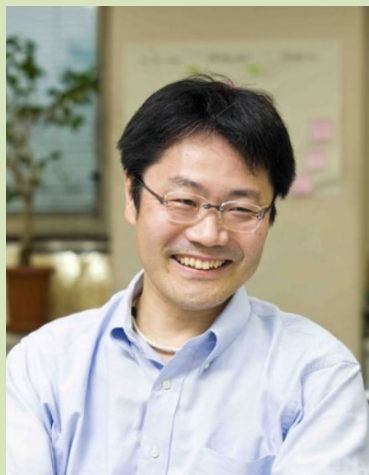
## 派遣の仕組み



## 派遣団体数



## 地域情報化アドバイザーリーダー 川島 宏一氏より



地域情報化アドバイザーリーダー  
筑波大学 川島教授

(地域情報化アドバイザーの必要性について)

自治体内部で苦しんでいる職員に対して、外から行って、その方々の活動の範囲を広げてあげるのが、一番効果的。ある程度国全体の動きがわかっている人でないと、自信を持ってその組織全体を動かすインパクトが与えられない。

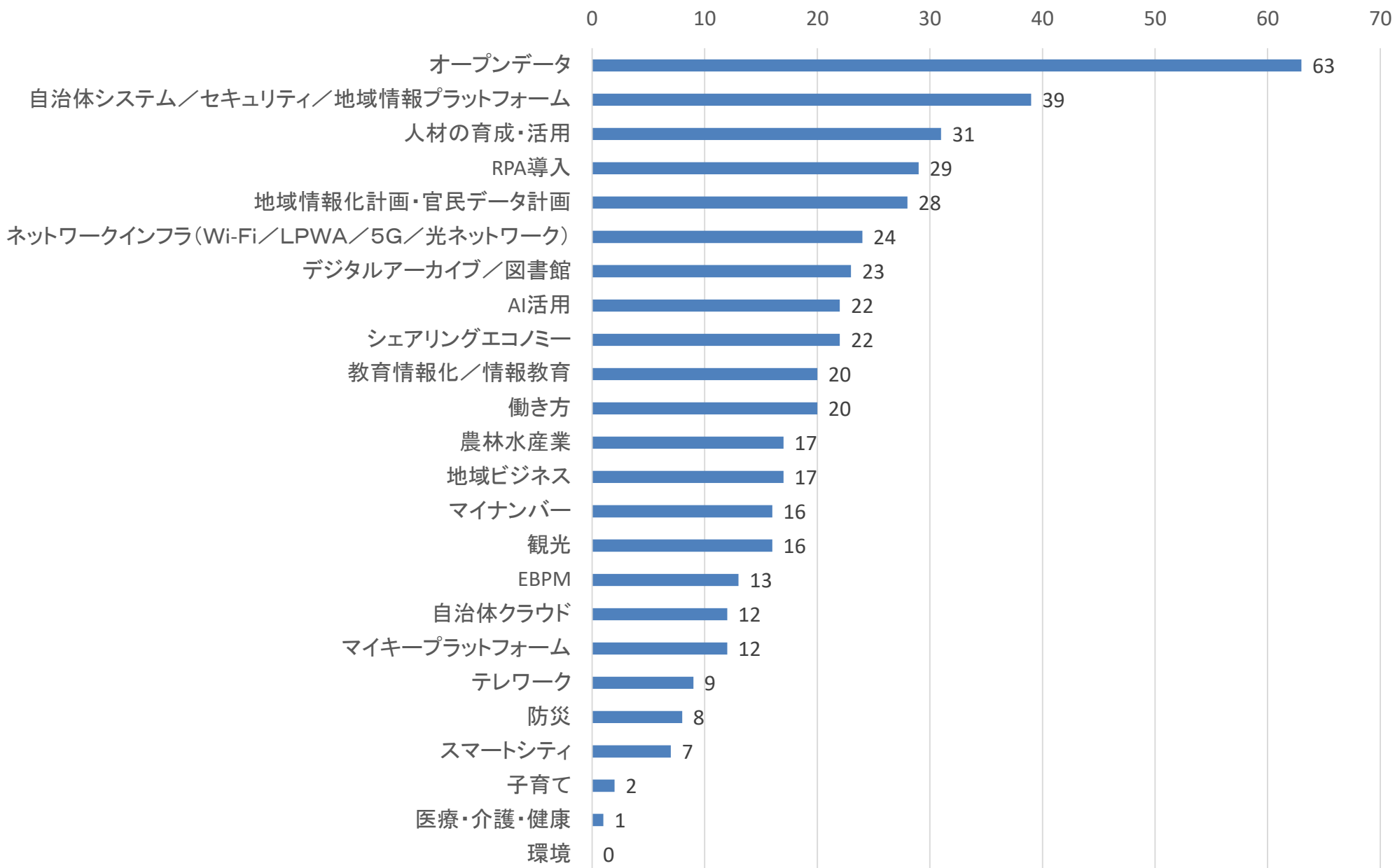
自治体には縦割りの中で埋もれている貴重な人材がいる。僕はこの制度の、外部からのインパクトが、すごく大きいと思う。フラストレーションをためて頑張っている人たちが、アドバイザーの加勢を得て、より生き生きと活動し出すということがある。

外から行って、ガツンと講演すると、少し変わる。ジワリジワリと効いてくる。アドバイザーという外力を使って中を変える、という感じで使ってもらえるといい。

ICTを使って「何かしたい、何かしなくては」という意識を、  
「まず、やってみる！」に変えるきっかけとして、  
ぜひ地域情報化アドバイザーをご活用ください。

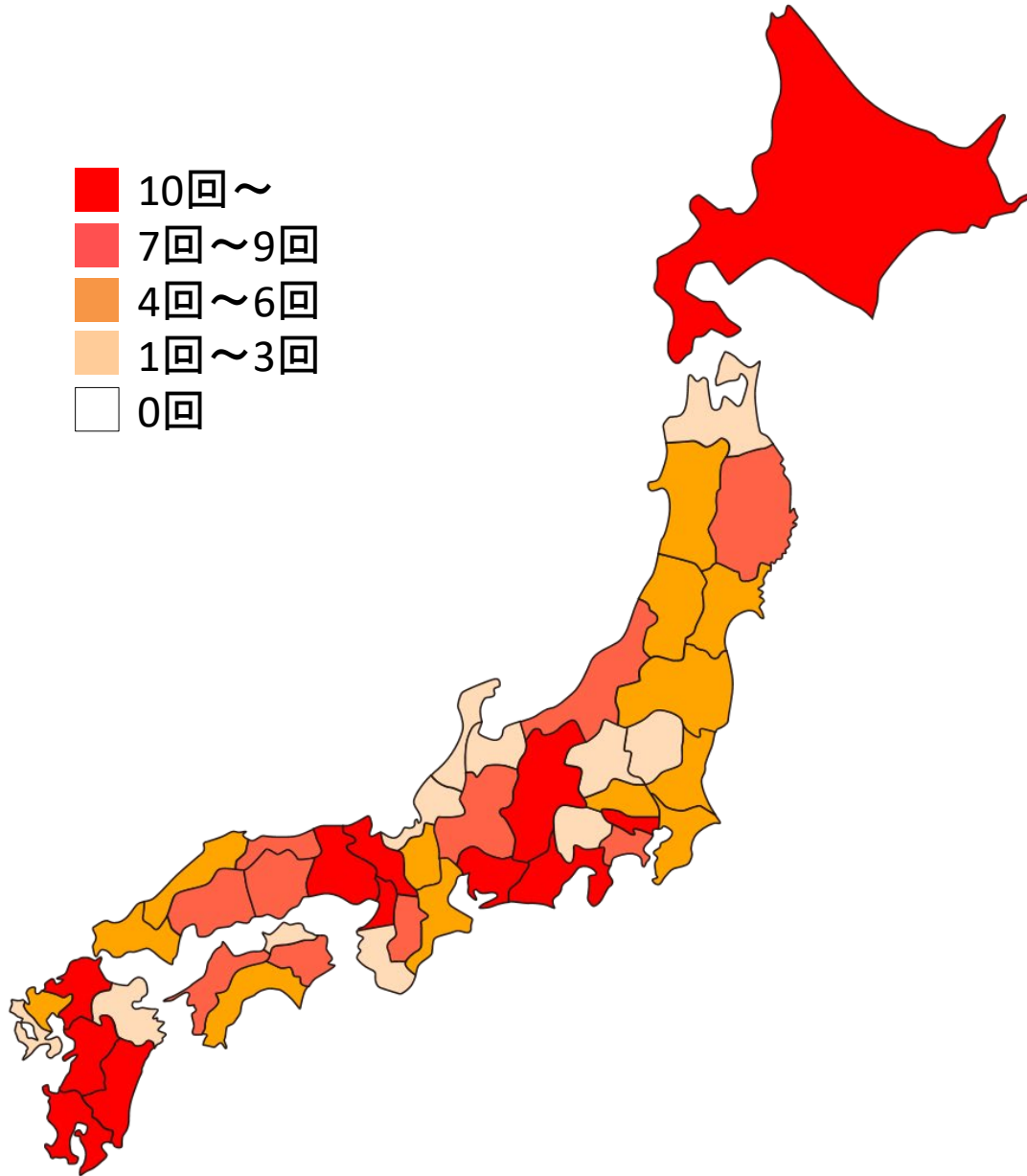
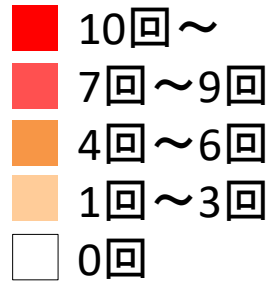


# 令和元年度の派遣傾向(分野別)



# 令和元年度の派遣傾向(都道府県別)

都道府県	派遣数
愛知県	28
北海道	20
熊本県	16
大阪府	14
鹿児島県	14
静岡県	13
兵庫県	12
京都府	11
東京都	10
長野県	10
福岡県	10
宮崎県	10
岩手県	9
神奈川県	9
新潟県	8
奈良県	8
岡山県	8
広島県	7
岐阜県	7
鳥取県	7
徳島県	7
愛媛県	7



都道府県	派遣数
秋田県	6
山形県	6
茨城県	6
千葉県	6
三重県	6
島根県	6
山口県	6
沖縄県	6
宮城県	5
福島県	5
滋賀県	5
高知県	5
埼玉県	4
佐賀県	4
青森県	3
栃木県	3
群馬県	3
富山県	3
和歌山県	3
長崎県	3
福井県	2
香川県	2
大分県	2
石川県	1
山梨県	1

## アドバイザー派遣の原則的なパターン

1日のみ、2日連続又は3日連続のいずれか

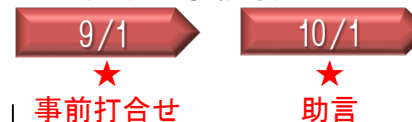


同一団体に対するアドバイザーの派遣は連続する3日間を限度とし、派遣回数は原則一回とする。

実働時間は1日当たり7時間までとする。

## 事前の打合せやフォローアップを行うパターン

例1 一回目:事前打合せ 二回目:支援・助言



連続していない2日

例2 一回目:支援・助言 二回目:フォローアップ



連続していない3日

例3 一回目:事前打合せ 二回目:支援・助言 三回目:フォローアップ



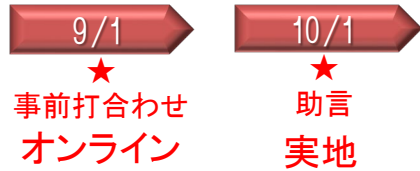
連続していない日

支援効果を高めるなど案件の特性に応じて、事前打合せまたはフォローアップも可能とする  
(1日当たり7時間まで、合計日数は3日まで。)

# 地域情報化アドバイザーの派遣パターン②

## オンライン+実地への派遣を行うパターン

例1



例2



1日あたり7時間まで、合計日数は派遣と併せて3日まで。

メールや電話は認めない。オンライン会議（Skype等）のみ認める。助言時間がわかる証拠書類を添付すること。

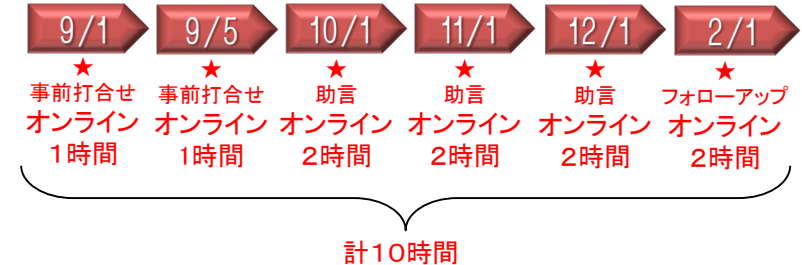
R2年度  
変更点

## オンラインのみにより支援を行うパターン

例1



例2



日数上限なく合計10時間まで（1日あたり7時間まで）。